

プロジェクト名	スマホで撮った画像を投稿しそれについてコメントを書く
タイプとレベル	「ライティングと文法」 A2
期間	授業の後半 30 分を 1 回+2 週間後に提出する宿題
対象者	週 2 回 1 年間ドイツ語を学習する大学 1 年生（夏休み直前頃から実施可能）
計画案 (課題、目的、学習対象、 利用可能なツール、技術的 な前提、進行プラン例)	課題 : 外に出て、スマートフォンで何かの画像（物体、人物、動物、看板、建物、景色等）を撮って、LMS に投稿し、それについて説明文とコメントを書く。場合によっては、ある物体の一部分だけを出し、これなあに？と尋ねるようなクイズ形式も可とする。 目的 : 1) 目の前の対象がなんであるかについて記述できるようになる。2) 目の前の対象の空間的な位置関係が記述できるようになる。3) 目の前の対象がどのような性質を持っているかについて、その物理的性質を記述できるようになる。4) finden を用いて目の前の対象についての主観的な価値判断を表現できるようになる。5) 新出語彙の発音を自分の力で調べ、発音できるようになる。 利用可能なツール : 学生：スマートフォン、読み上げ機能のある各種ソフトウェア (Google 翻訳, Acapela Box, TTSMP3.com Free Text-To-Speech and Text-to-MP3 for German, Free online Text To Speech (TTS) service with natural sounding voices, Text to Speech Reader : German male voice, German Text-to-Speech Service, TEXT TO SPEECH ONLINE TEXT TO VOICE ROBOT, TEXT2MP3)、Glosbe・Reverso Dictionary・Wadoku などのオンライン辞書各種、各種学習管理システム (FLIPGRID, Facebook, Bb9, moodle 等)。 技術的な前提 CALL 教室等が使えるれば望ましいが、最低限、教員用 PC が 1 台ネットに接続でき、その画面を提示できれば良い。勤務先の大学に学習管理システムがあれば望ましいが、無い場合は、SNS を限定公開モードで使う。 プロジェクト進行プラン ① 準備：1) Lokalpräpositionen を復習しておく、2) 物理的な記述に必要な基本的形容詞を一定数扱っておく、3) finden

を使った主観的な判断の表現形式を扱っておく（これらの活動に役立ちそうなワークシートは、iSLCOLLECTIVE 等の教員用教材共有サイトをさがせば見つけれられる。また、インターネット上の女性ファッション誌の画像や広告画像の顔写真から取ったり、あるいは、Google の画像検索で Mensch/ Mann/ Frau/ Kind/ Landschaft などの名詞の前にいろいろな形容詞をつけて画像検索したりする方法でも事前練習に役立ちそうな画像は得られる。）

① 第1週：PowerPoint プレゼンテーションのかたちで、できればクイズ形式で、何かの画像（物体の一部や景色の一部）を出して、Was ist das? / Wo ist diese Landschaft?などと聞きながら、ある物体や、場合によっては景色などについて尋ね、段階的にその記述や価値判断をクラス全体に投げかけながら聞いていく。

② 次に、今まで見たなかで特に印象に残った物や場所をドイツ語で（あるいは難しければ日本語で）聞く。次にそれをどう感じたかをドイツ語（finden を使った主観的価値判断を表す形式）で聞いて、答を求める。

③ その後、課題を説明する。対象は何でも良いので、自分で撮った画像にすること、できるだけ興味深い対象を見つけることを強調し、その上で、その対象が何であるか、どこにあるか、どのようなものであるか（外見、特徴、性質）を記述し、最後にそれに対する自分の評価を150字くらいで書くように指示する。

④ 作文の際には、原則として習った表現の枠組みを使うことを推奨し、どうしてもそれ以外の表現を使う場合は、次の原則を守らせる。

- ・新出の単語を使うときは、最後の行に「新出単語」として当該単語とその日本語訳を註の形で付ける。
- ・新出の表現や文型を使うときは、その表現を二重引用符で囲んだものをキーワードとして Google 検索を行い、実際の使用例があるか確認してから使う。
- ・新出の単語や表現を使って良いのは、原則3回までとする。

⑤ 第2週：学生は、4人～6人のグループ作業で、宿題として書いてきた説明文をお互いに紹介し、グループ内で直す。不安のある部分は、机間巡視している教員に尋ねる。

⑥ 直した作品は、LMS の Forum ページに投稿する。次の課題として、投稿された他人の文を読んで、共感した作品を2つ選び、その作品の投稿者に対し、書かれている内容に対するコメントや質問を、一言で良いので自由に書き込む。あるいは、こんな画像もいいよという形で自分の撮った画像も適宜投稿する。なお自分の作品に対して書き込まれたコメント

	や寄せられた画像や質問に対しては、必ず再コメントや質問されたことへの答を書く。
ポイント	1) 本当に、何か特別な写真を撮らせるため、テーマとなる画像を決める前に、少なくとも 10 枚は写真を撮るよう強く指導する。 2) 外部で写真を撮る場合は肖像権や誤解を受けない撮り方をするようあらかじめ注意を促す。 3) Google の画像検索を使うときは、いわゆる「不適切な」画像を除外する「セーフサーチ」やツールの中の画像の大きさ指定などの機能を使うと便利である。